

第 455 回 役 員 会 議 事 録

日 時： 平成 31 年 4 月 15 日（月） 11：37～11：50

場 所： 特別応接室

出席者：

久保総長	丸野理事	井上理事	荒殿理事	安浦理事
若山理事	石橋理事	江崎理事	山縣理事	

1 芸術工学部の改組について

芸術工学部の改組について説明があり、審議の結果、これを議決した。

2 基幹教育院教員の新規採用に係る選考方針及び選考委員会の構成方針について

基幹教育院教員（自然科学実験系部門・生物学及び物理学・教授各 1 名）の新規採用に係る選考方針（公募要領）（案）及び基幹教育院 教員選考委員会の構成員（案）について説明があり、審議の結果、これを議決した。

3 平成 31 年度卓越大学院プログラムへの申請について

平成 31 年度卓越大学院プログラムへの申請について説明があり、審議の結果、本学から申請する 3 プログラムについて、下記のとおり実施することについて議決した。

水素・脱炭素エネルギー国際卓越大学院プログラムについて、当該プログラムが採択された際には、工学府水素エネルギーシステム専攻、同学府機械工学専攻、経済学府経済システム専攻及び統合新領域学府オートモーティブサイエンス専攻の参画の下、マサチューセッツ工科大学（材料科学工学科・原子核工学科研究室他）、インペリアル・カレッジ・ロンドン（工学部他）、イリノイ大学アーバナシャンペーン校（工学部他）、ハワイ大学マノア校（自然エネルギー研究所、経済学科）、カリフォルニア大学サンディエゴ校（エネルギー研究センター）、J X T G エネルギー株式会社、東京ガス株式会社、トヨタ自動車株式会社、三菱日立パワーシステムズ株式会社、九州電力株式会社、西部ガス株式会社、株式会社九電工、日産自動車株式会社、東芝エネルギーシステムズ株式会社、アイシン精機株式会社、株式会社アイシン・コスモス研究所、三浦工業株式会社、日本ガイシ株式会社、日本特殊陶業株式会社、アサヒクオリティードイノベーションズ株式会社、豊田通商株式会社、みずほ情報総研株式会社、一般財団法人日本エネルギー経済研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立研究法人宇宙航空研究開発機構、福岡県及び福岡市と連携して、調書に記載の事項について確実に実施する。

“オープンサイエンスプラットフォーム”によるマテリアルヘルステクノロジー卓越大学院について、当該プログラムが採択された際には、工学府物質創造工学専攻、同学府材料物性工学専攻、同学府化学システム工学専攻、同学府物質プロセス工学専攻、同学府機械工学専攻、システム情報科学府情報学専攻、同学府知能情報工学専攻、同学府電気電子工学専攻、システム生命科学府システム生命科学専攻及び理学府化学専攻の参画の下、国立研究開発法人理化学研究所、福岡市（観光文化局創業・立地推進部、保健福祉局総務企画部）、糸島市（経済観光文化局）、公益財団法人九州先端科学技術研究所、株式会社 L S I メディエンス、富士フイルム株式会社、三井化学株式会社、日産化学株

式会社、日本化薬株式会社、日本エア・リキードラボラトリーズ、住友理工株式会社、ニプロ株式会社、株式会社Kyulux、株式会社ラ・ルバンシュ、太陽ホールディングス株式会社、三菱ガス化学株式会社、AST Products Inc.、ヨハネスグーテンベルグ大学マインツ、ワシントン大学、イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校、ルンド大学、華中科技大学、国立精華大学、台湾師範大学、浦項工科大学、釜山大学、梨花女子大学及びボゴール農業大学と連携して、調書に記載の事項について確実に実施する。

マス・フォア・イノベーション卓越大学院について、当該プログラムが採択された際には、数理学府数理学専攻、システム情報科学府情報学専攻、同学府知能情報工学専攻及び同学府電気電子工学専攻の参画の下、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構統計数理研究所、国立研究開発法人理化学研究所（革新知能統合研究センター、数理創造プログラム）、株式会社富士通研究所、株式会社ZOZOテクノロジーズ、マツダ株式会社、糸島市（地域振興課）、イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校（数学・電子計算工学科）、カリフォルニア大学サンディエゴ校（数学科）、ラ・トローブ大学（数学統計学科）、国立シンガポール大学（数学科）、台湾師範大学（数学科）、ライデン大学（数学研究所）及びツェ研究所ベルリンと連携して、調書に記載の事項について確実に実施する。

(以 上)